

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年12月24日（木）

2 確認箇所

- ・ K1南及びK2タンクエリア
- ・ エリアP1南側の伐採木一時保管エリア

3 確認項目

- (1) ストロンチウム処理水貯留タンクの再利用に向けた取組状況
- (2) エリアP1南側の伐採木保管エリアの状況

4 確認結果の概要

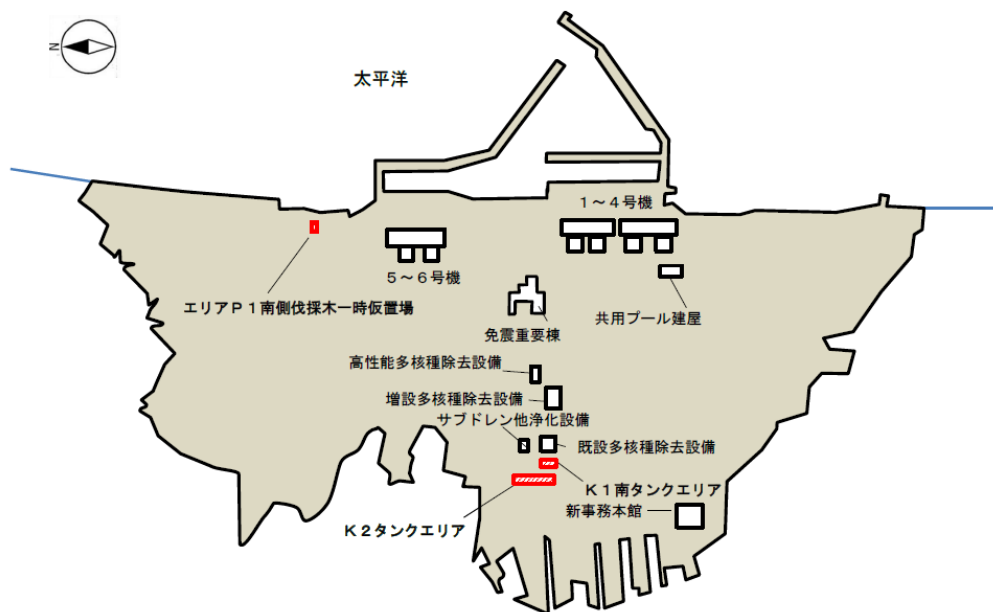
- (1) ストロンチウム処理水貯留タンクの再利用に向けた取組状況

福島第一原子力発電所では、トリチウムを含む汚染水を保管するタンク容量を確保するため、水抜きが完了したストロンチウム処理水貯留タンク※について、内部を清掃及び連結管を交換するなどして再利用を進めている。

今回、当該作業が予定されているK1南及びK2タンクエリアの状況を確認した。（図1）

- ・ K1南及びK2タンクエリアともに現場確認時には作業は行われていなかった。（写真1）
- ・ K2タンクエリアにおいては、堰内の一角に工事機材が仮置きされており、近くの工事用機材仮置表示には連結管他交換修理工事に係るものである旨表示がされていた。（写真2）
- ・ 東京電力によればK1南及びK2タンクエリアについては、現在、工事機材の購入手続きを進めているところであり、清掃作業を令和3年1月から開始予定とのことであった。

※ ストロンチウム処理水貯留タンクとは、原子炉建屋に滞留した地下水等からセシウム吸着装置を使ってセシウム及びストロンチウムを取り除き、さらに淡水化装置により処理された水の貯留タンクのこと。その後、この貯留水は多核種除去設備（ALPS）でトリチウム以外の核種が取り除かれ、発電所内のタンクに貯留される。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
K1南タンクエリアの外観



(写真1-2)
K1南タンクエリア堰内の状況
(作業等は行われていなかった。)



K2タンクエリア

(写真1-3)

K2タンクエリアの外観



工事機材の仮置き

(写真2)

K2タンクエリア堰内の状況

(堰内の一角に工事機材が仮置きされていた。)

(2) エリアP1南側の伐採木保管エリアの状況について

同伐採木保管エリアについては、本年9月に管理の不備があり現場確認を行ってきた。今回、引き続き状況を確認した。(図1)

- ・前回(令和2年9月29日)は伐採木の入ったフレコンバッグ130袋程度の仮置きを確認したが、今回は約30袋が仮置きされていた。

(写真3)

- ・入口付近には以前から引き続き、工事標示札が掲示され、消火器も設置されていた。(写真4)



(写真3-1) 前回の状況
(令和2年9月29日撮影)



(写真3-2) 今回の状況
(令和2年12月24日撮影)



(写真4)
入口付近の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。